

## 留学体験談及び後輩へのメッセージ

自然科学研究科 清野吉男

本留学体験談では、清華大学留学の目的・動機及び留学中の出来事についての自分の考えを記します。清華大学に留学したい、また留学する予定の方は、ぜひ本体験談を読んでみてください。また他大学に留学したいという方も、参考になる可能性があるので気が向いたら読んでみてください。

### [留学の理由・目的]

私はある程度中国語が話せました。しかし中国の留学生と交流を行ったとき、今のレベルでは不十分であると感じました。この経験から学部3年生の時に、留学を考えました。しかしこの時は留学の費用等や「一年卒業が遅れる」という考えから、留学を断念しました。そして進学し、修士2年生になり、学生時代にやり残したことはないかと考えたとき、「留学をしてみたい」と思っている自分がいました。そこで、私は中国の清華大学に留学し、世界トップクラスの研究に触れるとともに、中国語言語研修を行い、中国語のレベルアップを試みました。またこの留学ではトビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム第8期に申請、採用され、トビタテ生として支援を受けながら留学に参加しました。

### [留学先での学習]

平日は、毎日4コマ授業が行われます。中国語言語研修では初めに個人の中国語レベルを調べるためのテストが行われ、クラス分けされます。そして授業はそれぞれのレベルに合った少人数クラスで行われます。また、このクラスは様々な国籍の人が一緒に勉強します。そのため中級以上では中国語または英語、初級ではだいたい英語を用いてクラスメイトとコミュニケーションをとる必要があります。もちろん授業を受け持ってください先生方はほとんど日本語を話すことが出来ません。私の場合、中国語での意思疎通はある程度できたのですが、クラスメイトが英語を used と話についていけませんでした。このことから英語を話せないことがこんなにももどかしく、辛いことなのかと気づかされました。そして英語の重要性を再認識させられました。また中国語の熟練度では、外国人は漢字を知らないのでスピーキングは良いが、リーディングがダメという場合が多く、日本人は逆に漢字から意味を推測できるのでリーディングは良いが、スピーキングがダメという場合が多いです。そのためクラスメイトになった外国人が自分よりもはるかに中国語が上手く話せてもショックを受けないでください。日本人は漢字を知っているというアドバンテージを生かしてインプットとアウトプットを繰り返して行けば、すぐに追いつくことができるはずです。僕の場合もそういう意味ではクラスメイトから「日本人はずるいよ。」と何度も言われました。そして日本人が中国語を勉強するうえで大切なことは、やっぱり進んで外

出し、現地の中国人の友人と交流を深めることだと思います。

そして4コマの授業が終わったら、研究室で研究をしたり、授業の予習をしたり、日中交流会イベントに参加したりしていました。

### **[留学先での生活の環境]**

住居に関しては、大学から自転車15分の賃貸（シェアハウス）でした。家賃は月2700円で広さはホテルの1人部屋くらいで比較的安い方だったと思います。トイレ・風呂場・台所が共有でした。特に不便なく生活できました。

生活環境に関しては、至る所にスーパーマーケットやコンビニなどがあり、日本に比べて物価はとても安いです。しかし清華大学の学食の方が国からの補助金があり、外食や自炊よりも手軽で安価かつ種類も多いのでほとんど学食で食べていました。スーパーマーケットでは主に飲み物や果物を買っていました。特に北京は乾燥がひどいので、進んで果物をとるようにしました。ちなみに中国の果物は日本よりも種類が豊富で、値段も安いので、いろいろと食べ比べてみても面白いかもしれません。最後に、北京市内は多くの電車やバスが走っています。そしてこの運賃が驚くほど安いです。バスに1回乗ると多くの場合1元（15円程度）、地下鉄だと1回乗ると多くの場合3~5元（45~75円程度）であり、様々な場所に行っても費用が安いです。もちろんタクシーも日本と比べると大分安いです。

### **[留学して学んだこと]**

留学して1番に感じたことは英語の重要です。日本にいるときも、英語は重要だと知っていました。しかし実際に日本では特に話せなくても困ることがあまりなかったのも、その重要性が身近には感じませんでした。今回の留学を通じて実際に英語が話せず、困った体験をしたことで、英語の重要性を再度認識しました。

### **[留学を薦める理由]**

留学をする目的として視野を広げたいという人が多くいるかと思います。しかし、今回の留学を通じて私は「留学したから視野が広がる」のではなく、「多くの人と出会えるから視野が広がる」と感じました。私は今回の留学で様々な人と会い、交流してきました。彼らと出会う前までは興味がなかった話題も、彼らと交流し、文化・習慣の違いや異なる考え方に触れることで、興味を持つようになり、積極的にその国を知りたいと思うようになりました。そして最終的には新聞やテレビでは得られない実物大の中国を知ることができたと思いました。

### **[トビタテで留学して良かったこと]**

私がトビタテで留学して良かったと感じたことは以下の4点です。

1つ目は、留学におけるスタートダッシュができることです。留学の計画及び目的に関し

て事前研修で再度考え、再構成することによって、留学中にやるべき内容を整理できると思いました。また、私の場合同じ地域に留学する仲間に出会い、情報を共有できたこともよかった点です。

2つ目は多国籍の人と多く関わる機会ができることです。トビタテではエヴァンジェリスト活動企画があるため、トビタテに採用された学生は自ら外国人に日本の文化・習慣などを伝えていく必要があります。この過程で視野の広がり、世界への関心、己のアイデンティティを考える機会ができると考えられます。また挑戦することや自信を持つことに繋がると思います。私の場合は、エヴァンジェリストの活動として、40回以上の日中交流イベントに参加し、進んでコミュニケーションを取りました。

3つ目は他の奨学金よりも高い金額が支給されることです。留学には多くの費用がかかります。実際私も半年の留学で約80万円かかりました。この金額を私だけで工面するのは非常に難しく、トビタテがあったから、留学ができたと言っても良いと思います。

## [留学について]

留学は大学を卒業する上では必ずしも必要があるわけではありません。そして私も現に修士2年生まで留学する計画をしていませんでした。しかし、私は実際留学して、「留学して本当に良かった、そしてもっと早く留学できていたら良かった。」と思いました。その理由は、様々な価値観の人々や文化さらには多くの楽しいことや困難なこと、今までには体験したことのない事を身で見て、耳で聞いて、体験することで視野が広がるまたは自分を見つめ直す機会になるからです。私の場合は半年だけの留学だったのですが、日本での大学生活の2年間ぐらいの濃密な体験をしてきたように感じます。そのため無理には留学しなくてもいいと思いますが、少しでも留学に興味があれば、ぜひ挑戦することを勧めます。

かつて私が留学する上で心配していた内容が2つあります。私と同じような気持ちを持っていて留学を不安に思っている方がいたら、参考にしてください。

1つ目は「卒業が遅れるまたは就職が遅れること」について考えていました。しかし、実際に留学して私は遅れた分の1年に対して、2年分の体験ができたので、より密度の濃い生活を送れたと思いました。また留学先にも多くの就職活動の情報が存在するので、私はもっと早く留学して情報を収集したかったです。さらに留学中の現地でも海外及び日本の企業に内定を頂くことも可能です。

2つ目は「費用の問題」についてです。多くの方が留学に行きたくても、留学に行けないのではないかと思います。実際に私も自費だけで、留学をするのは非常に困難だったと思います。その理由はもちろん留学にかかる費用が非常に高いからです。しかし、費用の問題で留学を諦めるのは勿体ないと思います。私の場合はトビタテ！に採用されて、留学することができました。私が留学先で知りあった人には3つもの奨学金を受けていた猛者も

いました。だから留学に向けた熱意さえあれば、留学する方法は必ずあるのではないかと思います。そのためすぐに留学を諦めずに、留学交流推進課や先輩や先生にお話を聞いてみると道が開かれるかもしれません。

